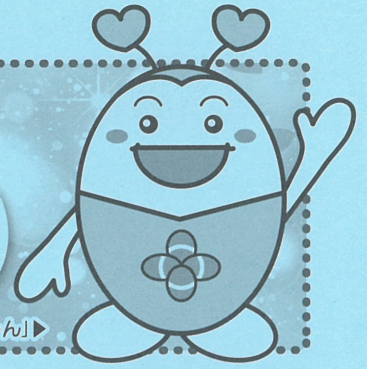


第74号 令和3年3月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのピロロちゃん」



支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり

令和2年度 大分市ボランティアセンター事業の報告

大分市ボランティアセンターでは、第5次地域福祉活動計画に基づき、ボランティア活動の促進のための各種事業に取り組みました（コロナ対策のため、一部中止、または変更して実施しました）。

重点的な取組

◆地域福祉活動ボランティア支援事業

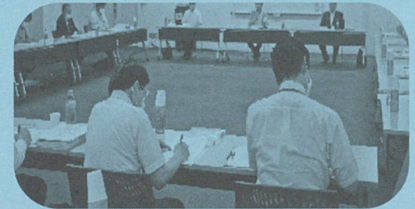
校（地）区社協活動やサロン活動等の地域福祉活動は、担い手の高齢化や後継者がいない等により担い手不足が課題となっています。そこで、新たな地域福祉活動の担い手の発掘・養成を行うための具体的方策を検討するため、地域福祉活動を実践する校（地）区社協等から意見収集をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。

引き続き、地域福祉活動の担い手づくりとして、校（地）区社協やサロン代表者等に、地域福祉活動に不足している担い手についての意見収集を行います。

◆災害ボランティア活動支援体制整備事業

大分市地域防災計画に基づき、災害ボランティアセンターを円滑に運営するため行政・社協・NPO等が連携し、運営体制の整備や災害ボランティアの育成等について取り組みました。

- 大分市災害ボランティアセンター運営委員会の発足（令和2年7月1日） 9月29日 第1回運営委員会
- 災害ボランティアセンター運営スタッフの研修・訓練（令和3年3月17日）
- 災害ボランティア登録の拡充（令和3年3月末登録者数：437名）



ボランティア活動の支援

- ボランティア活動に関する情報提供
- ボランティア活動保険の加入案内
- ボランティア活動助成金交付 など

（令和3年3月末登録者数：292団体8,569人、個人465人）

大分市ボランティア連絡協議会の支援

- 会員相互の交流や学習を深めている協議会へ運営支援をし、社協事業で連携しています。（自主研修会等は中止になりました）

ボランティアの育成

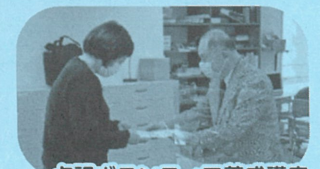
- 小中学校へへの出張による福祉学習講座
9月から14校で実施
- 夏休み体験ボランティア
（中止しました）
- 「朗読ボランティア養成講座」
10月から10回／修了生14名
- 「点訳ボランティア養成講座」
6月から38回／修了生3名



小中学校へへの出張による福祉学習講座



朗読ボランティア養成講座



点訳ボランティア養成講座



～コロナ禍でのボランティア活動～

ボランティアセンターに集うボランティアの皆様にご加入いただき、通称「ボラ連」として、研修や交流の場を通してボランティア活動の向上を図っています。

しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、ボラ連の予定事業が全くできませんでした。

また、会員も、それぞれのボランティア活動に大変苦労しているようで、「コロナ禍の活動」についてアンケートを取ったところ、69団体・4個人からの回答があり、概要は下記のとおりでした。

- ボランティア活動は、継続中36%、休止中45%、再開中19%でした。
- コロナ対策は、マスク・消毒・3密回避で、活動は少人数かつ短時間で活動。
- 活動の悩みは、高齢者が多く無理強いはできない、新会員の募集も難しい、連絡や会議にリモートやZOOMを考えている、他の団体はどういう状況なのか知りたい、など。

会員皆、悩んだり工夫したりしている様子が見えます。これからもっと情報交換しながら、ボランティア活動に活かしてまいりたいと考えています。

新規会員を募集しています

令和3年度ボラ連協議会総会を令和3年5月27日（木）14時からホルトホール大分大会議室で開催しますので、見学しませんか。お待ちしております。（コロナの感染状況により中止となる場合があります。ボラ連ホームページでご確認ください。）

大分市ボランティア連絡協議会ホームページ <https://oitacityvcc.wixsite.com/website>

情報交換の場として、皆様からのご意見（つぶやきでも）等、どんな小さなことでも結構ですでお寄せください。



点訳ボランティア養成講座

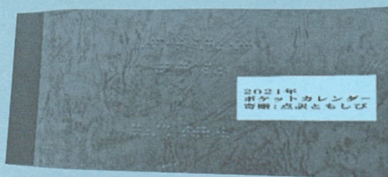
一つ一つの積み重ねが大きな貢献に

点訳ボランティアとは、視覚に障がいがある方のために、活字で書かれている書籍や新聞、広報誌などの内容を点字にして伝えるボランティアです。

点訳ボランティアは、点訳だけでなく、点訳されたものを校正したり、点字を編集したり、様々な活動を通して視覚に障がいのある方の支援をおこなっています。この講座をとおして点字を初歩から学び、終了後は視覚に障がいのある方を支援するボランティアグループ「点訳友の会」の会員として活動されます。



点字カレンダーの寄贈



今年度も「点訳ともしび」の方より130冊のポケット点字カレンダーを寄贈いただきました。

一人のボランティアさんが一年かけて作成したこのカレンダーを視覚障がい者の方へ寄贈いただいています。利用される方々からは「毎年ありがとうございます。大変助かっています。」お礼の言葉をいただいています。

ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

令和3年3月末現在の登録者数 292団体8,569人、個人 465人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)



譲渡会サポートボランティア「うちのこねこ」



私たちは「おおいた動物愛護センター」にて、月2回開催される猫の譲渡会のサポートを主な活動としているボランティアグループです。

譲渡会当日に爪切りなど猫のケアをして準備を整え、受付から里親決定までを取り仕切っています。その様子をブログにてお知らせしたり、インスタグラムで譲渡会参加猫の楽しい動画や写真を紹介したりしています。

その他、譲渡に関する質問や、譲渡後の飼養についての相談にもメールで対応しています。

譲渡された猫のその後のお便りを写真付きでお知らせくださる里親様も多く励みになっています。

また、譲渡会に参加するには未熟な子猫や人慣れ不十分な猫を自宅で預かり、育てたり慣らしたりという預かりボランティアも行っています。

今後はセンターの「おおいたさくらねこプロジェクト」に賛同しTNR活動にも力を入れていこうと思っています。

一匹でも多くの猫たちに新しいおうちが出来るよう活動を頑張っており、代表 三島



うちのこねこ ブログ ▶ <http://uchinokoneko.blog.fc2.com/>

うちのこねこInstagram ▶ <https://www.instagram.com/utinokoneko/>



ビスケット

Be助っ人緑が丘



Be助っ人緑が丘は、住民同士で助け合いをする有償ボランティアです。大分市のふるさと団地元気創造事業で「高齢者を地域で支援するしくみ・何でも相談できる窓口・地域のお助け隊」を作りたいと住民の声から取り組みを始めました。

緑が丘団地の住民誰もが利用者となり、サポーターになる事も可能です。利用は、15分まで100円、30分まで200円、60分まで500円で全額サポーターに支払います。

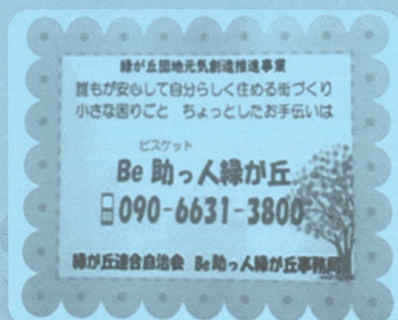
連合自治会が、事業主体の為、利用者・サポーター・事務局間での事務が簡素化できました。

活動内容は、話し相手・買い物・ゴミ捨て・簡単な家具の移動等で専門的なものではなく、介護保険や公的サービスの間隙を埋める程度です。連絡先を記載しマグネットシートも配布しました。

活動は、令和元年10月に試験運用を開始してから、令和3年2月までに延べ225回行っています。

高齢化が進む団地で、住民同士の助け合いで住み慣れた家についてまでも暮らせることを願っています。

事務局 代表 那須 千鶴



多くの善意ありがとうございました

だれでもできるボランティア活動です。日ごろの生活の中で、気軽に始めることができ、沢山の人の協力が大きな支援につながります。

今年度も皆さんからいただいた使用済み切手・書き損じハガキ（未使用の切手・ハガキ含む）を大分県盲人協会に寄贈しました。



令和2年度にご協力いただいた皆様（敬称略）

● 収集ボランティア

（株）トヨタレンタリース、大分市生活学校連絡協議会、青い鳥、大在地区婦人会、エスペック九州、（株）石鎚、（有）アロス、JSA中核会・AIRオートクラブ大分支部、由布市立挾間小学校、（株）パリアイワオ、オルク大分、坂ノ市校区ボランティア、川床東明クラブ、ボランティア別保、渡辺紘輔、奥川留美子、佐藤満洋、永松伊久枝、他個人・団体の方々

● 使用済み切手整理・分類ボランティア

本郷まり子、定行真由美、田島貴代子、今岡、うさぎの会、その他のの方々

使用済み切手の切り取り方

使用済み切手の切り取り方は収集団体で少しずつ違いはありますが、切手のまわりを、1cmほど残していただくと、消印や切手のまわりのギザギザがしっかりとこり、収集対象の切手となります。愛好家のほしい切手がこのようなものだそうです。

- 記念切手 切手のまわりのギザギザがしっかりと残っているもの絵柄をみます。
- 普通切手 消印の日付や場所で選ばれます。長い消印のものは、地名、日付が一つずつ残るように。

ボランティア活動保険の補償内容について

新年度のボランティア活動開始に向けて、ボランティア活動保険の加入手続きもおすすめていただいているところかと存じますが、ボランティア活動保険の補償内容に関して、ご質問が多い事項についてご案内いたしますので、ご参照ください。

よくあるご質問 (Q&A)

Q1 ボランティア活動中に新型コロナウイルス感染症を発病した場合、補償の対象となりますか？

A1 対象となります。令和2年度契約より特定感染症の範囲に新型コロナウイルス感染症が追加されました。
※保険責任開始日からその日を含めて10日以内に発病した特定感染症等（新型コロナウイルスを含む）に対しては保険金をお支払いすることができませんので、あらかじめ、活動の予定がある場合は早めの保険加入をお勧めします。

Q2 ボランティア活動に向かう途中、自転車と衝突してケガをした場合、補償の対象となりますか？

A2 対象となります。ボランティア活動中だけでなく、活動場所と自宅の往復途上の事故も対象となります。
※自宅：一戸建住宅の場合は敷地を出たところ、集合住宅の場合は玄関を出たところを指します。



Q3 加入の対象とならないボランティア活動には、どのような活動がありますか？

A3 加入の対象とならない主な活動には次の活動があります。

● 自発的な意思による活動とは考え難い活動

（例）学校管理下にある先生や生徒の活動、免許・資格・単位取得を目的とした活動等

● PTA、自治会、町内会、老人クラブ、子ども会などボランティア活動以外の目的でつくられた団体・グループの事業、組織活動や団体構成員の親睦のための活動（例）団体としてのボランティア活動、団体の当番制・輪番制の活動等

● 有償のボランティア活動（例）報酬が時給・日給・月給などで支払われる活動等

※交通費、昼食代、活動のための原材料費などの実費弁償としての支給については無償とみなします。

● 自宅で行う活動

※従来は日常生活と明確に区別でき、かつ活動計画書などによって活動予定や内容が事前に確認できる場合は対象としていましたが、新年度からは対象となりません。

● 企業等の営利事業の一環として行う活動や業務として行うボランティア活動

（例）企業のCSRとしてのボランティア活動、就業時間に行うボランティア活動等

● 保険上対象外となっているボランティア活動（例）野焼き、山焼きを行うまたはチェーンソーを使用する森林ボランティア活動等

※チェーンソーを使用して街路樹の剪定を行う活動や瓦礫の撤去を行う災害ボランティア活動等は対象となります。

こちらは概要のご案内となります。詳細につきましては「ふくしの保険ホームページ」(<http://www.fukushihoken.co.jp>)をご参照ください。

<取扱代理店>株式会社福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4667 FAX 03-3581-4763（受付時間：平日9:30～17:30）

<引受保険会社>損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-5137 FAX 03-6388-0154（受付時間：平日9:00～17:00）

ボランティア活動保険等についてのお問合せは、株式会社 福祉保険サービスまでどうぞ。

TEL/03-3581-4667 FAX/03-3581-4763 URL <http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティアだより

発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: volun@oita-syakyo.jp

開所日時：月～土曜日 9時～18時【ただし、第2・4月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）及び祝日、12月28日～1月3日は除く】